

H25

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	14 組織体制の見直し				重要度	A	
番号・取組事業名	14001	組織構造の見直し	作成日	H25.4.1	更新日	H26.3.31	
担当部署	020200	企画部 行政改革推進課	責任者	岩崎 克康	担当者	行政改革推進担当	
取組年度	H23	～	H27				
効果	その他改善						
最終目標	現状における担当制を含め、職の設置及び職層と職務など(職制等)を、給与構造の改革とあわせ、組織の規模や職員の年齢構成などを踏まえた適正なものに見直し、職層ごとの権限と責任を明確にするとともに、効率的な組織運営を進める。						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度	遅れている	見直しの方向性と課題の整理など					
平成24年度	計画どおり	見直しに係る情報収集, 研究, 検討, 庁内調整など					
平成25年度	実施	見直し事項の具体化(庁内調整, 工程・素案の策定など)					
平成26年度	実施	見直し事項の具体化(例規等の整備など)					
平成27年度	完了	変更後の執行状況モニタリング, 変更内容の見直し					
成果指標	指標名	職層名, 職務名の見直し				単位	職層の数
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値	9	9	9	9	6	6
	実績値	9	9	9			
効果額	歳入増加	計画額					0
		実績額					0
	歳出削減	計画額					0
		実績額					0
	計	計画額	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)	組織のスリム化・フラット化により, 迅速な意思決定につながる		組織のスリム化・フラット化により, 迅速な意思決定につながる		組織のスリム化・フラット化により, 迅速な意思決定につながる		

H25

アクションプラン(平成25年度)

推進項目	14 組織体制の見直し				重要度	A				
番号・取組事業名	14001	組織構造の見直し	作成日	H25.4.1	更新日	H26.3.31				
担当部署	020200	企画部 行政改革推進課	責任者	岩崎 克康	担当者	行政改革推進担当				
	区分	取組内容・目標								
平成25年度	実施	見直し事項の具体化(庁内調整, 工程・素案の策定など)								
取組項目			4~6月	7~9月	10~12月	1~3月				
1	課内, 関係課における検討(見直し項目や方向性の検討, 課題の整理など)		○	○						
2	他市の事例等の情報収集, 研究等		○	○	○	○				
3	見直し事項の決定, 見直しに係る庁内調整等			○	○					
4	条例・規則等の整備(可能なものがあれば)					○				
5	次年度以降における取組み項目の整理					○				
6										
7										
8										
9										
10										
進捗										
	上半期	進捗状況	遅れている	コメント	<ul style="list-style-type: none"> 職制の整理・見直し等について, 具体的な検討には着手できていない。 今後の進め方について, 給料表等の見直しとあわせて, 人事課等関係部署と検討を進める。 					
進捗・実績										
	年度末	成果指標名	職層名, 職務名の見直し		計画値	単位	職層の数	実績値	単位	職層の数
		達成状況【成果】	その他	コメント		9		9		
		進捗状況【活動】	遅れている							
		計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント					
		計画値	無							
評価	評価者	石黒 博	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする							
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	横断的な課題や重点プロジェクトに適切に対応できる組織づくりを継続していくこと。						
	方向性	継続実施								

H25

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	14 組織体制の見直し				重要度	B	
番号・取組事業名	14002	弾力的な組織運営		作成日	H25.4.1		
担当部署	020200	企画部 行政改革推進課		責任者	池田 高志		
取組年度	H23	～	H27				
効果	その他改善						
最終目標	部や課の枠組みを超えた対応が求められる課題や短期集中的な検討などについて、プロジェクトチーム方式による検討会などの運営を誘導し、それらの検討結果や進捗状況に応じ、施策展開や組織見直し等に反映させる。 また、必要に応じて、そのプロジェクトの位置付け(権限や責任の範囲など)を明確にし、決定事項を施策等に反映させるための制度づくりを進める。						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度	計画どおり	検討会等の設置・運営等の支援(行革目標・課題を中心に) 制度づくりに係る情報収集, 研究, 検討					
平成24年度	その他	検討会等の設置・運営等の支援 検討項目の選定の考え方(検討会等の設置基準, テーマの抽出方法)					
平成25年度	実施	検討会等の設置・運営等の支援					
平成26年度	実施	検討会等の設置・運営等の支援					
平成27年度	完了	検討会等の設置・運営等の支援					
成果指標	指標名	組織横断的課題, 市の行革重点目標に係る検討会の設置・運営数				単位	件
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値	3	3	3	3	3	
	実績値	3	2	2			
効果額	歳入増加	計画額					0
		実績額					0
	歳出削減	計画額					0
		実績額					0
	計	計画額	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)	横断的連携の強化, 組織のスリム化・フラット化により, 迅速な意思決定につながる						

H25

アクションプラン(平成25年度)

推進項目	14 組織体制の見直し				重要度	B			
番号・取組事業名	14002	弾力的な組織運営	作成日	H25.4.1	更新日	H26.3.31			
担当部署	020200	企画部 行政改革推進課	責任者	池田 高志	担当者	行政改革推進担当			
	区分	取組内容・目標							
平成25年度	実施	検討会等の設置・運営等の支援							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	検討会等の設置・運営等の支援			○	○	○	○		
2	制度づくりに係る情報収集, 研究, 検討, 庁内調整等			○	○	○	○		
3	例規ほか, 庁内ルールの整備(必要な場合)			○	○	○	○		
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・共通番号制度の施行に向け, 庁内の連携体制及び役割分担を定め, 全体調整や進捗管理を開始した。 ・「窓口サービス検討会」を前年度から引続き運営し, 共通番号制度の導入と足並みを揃えた窓口業務の改善に向けて, 事務室配置の検討や情報収集等を継続している。 ・職員の弾力的運用について, 事務効率化等の観点から, 引き続き制度の活用を図ることとしている。 					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	組織横断的課題, 市の行革重点目標に係る検討会の設置・運営数		計画値	単位	件	実績値	単位	件
					3			2	
	達成状況【成果】	その他	コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・「収納対策検討会」については, アクションプランを通じた進捗管理に軸足を移したため, 定例会議等は実施していないが, 債権管理室の後方支援という形で関与している。 ・窓口業務の改善に向けた「窓口サービス検討会」を新たに設置し, 事務局として運営に参画している(共通番号制度導入準備と歩調を合わせるため, 一時休止中)。 ・「職員の弾力的運用」に関係部署の理解を求め, 制度の活用に努めた。 ・消費税増税に伴う給付金支給業務の実施に当たり, 関連部署の横断的連携体制作りを主導した。 					
	進捗状況【活動】	その他							
計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント						
	計画値	無							
評価	評価者	岩崎 克康	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	型にはまった検討会の設置だけではなく, 即効性を重視した柔軟な体制も検討すること。					
	方向性	継続実施							

H25

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	14 組織体制の見直し				重要度	B	
番号・取組事業名	14003	発達の気になる子どもの支援強化		作成日	H25.4.1		
担当部署	070900	こども部 こども発達センター		責任者	関口 洋一		
取組年度	H23	～	H27				
効果	その他改善						
最終目標	障害児及び発達障害児に対する相談から状態評価、コーディネート、療育サービスへと繋げる総合的な療育支援体制を構築する。 【具体的目標数値】 こども発達センターの外来療育サービス利用件数 14,600件(H21年度実績 5,612件)						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度	計画どおり	年度内の専門職増員は叶わなかったが、集団療育支援の実施方法等の工夫により、利用件数の増加は果たすことができた。					
平成24年度	計画どおり	療育サービスの提供者である専門職(心理相談員・理学療法士)の増員を図り、外来療育サービスの利用件数の増加に繋げることができた。					
平成25年度	実施	療育サービスの提供者である専門職(心理相談員・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士等)の増員を図り、外来療育サービスの利用件数の増加に繋げる。					
平成26年度	実施	療育サービスの提供者である専門職(心理相談員・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士等)の増員を図り、外来療育サービスの利用件数の増加に繋げる。					
平成27年度	完了	療育サービスの提供者である専門職(心理相談員・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士等)の増員を図り、外来療育サービスの利用件数の増加に繋げる。					
成果指標	指標名	外来療育サービス利用件数				単位	件
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値	5,800	8,200	10,600	13,000	14,600	14,600
	実績値	7,500	8,370	9,300			
効果額	歳入増加	計画額					0
		実績額					0
	歳出削減	計画額					0
		実績額					0
	計	計画額	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0
	見込まれる その他効果 (金額以外)	早期発見、早期支援による児童への療育効果の増大、並びに保護者への情報提供・療育方法指導等による保護者・家庭支援の充実強化、及び就学相談への情報提供、相談支援を通じて適正な就学(特別支援学校・特別支援教室・普通学級等の選別)へと繋がる。		早期発見、早期支援による児童への療育効果の増大、並びに保護者への情報提供・療育方法指導等による保護者・家庭支援の充実強化、及び就学相談への情報提供、相談支援を通じて適正な就学(特別支援学校・特別支援教室・普通学級等の選別)へと繋がる。		早期発見、早期支援による児童への療育効果の増大、並びに保護者への情報提供・療育方法指導等による保護者・家庭支援の充実強化、及び就学相談への情報提供、相談支援を通じて適正な就学(特別支援学校・特別支援教室・普通学級等の選別)へと繋がる。	

H25

アクションプラン(平成25年度)

推進項目	14 組織体制の見直し				重要度	B			
番号・取組事業名	14003	発達の気になる子どもの支援強化	作成日	H25.4.1	更新日	H26.3.31			
担当部署	070900	こども部 こども発達センター	責任者	関口 洋一	担当者	関口 洋一			
	区分	取組内容・目標							
平成25年度	実施	療育サービスの提供者である専門職(心理相談員・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士等)の増員を図り、外来療育サービスの利用件数の増加に繋げる。							
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
1	既存療育事業の実施方法等を工夫して、療育支援の質の充実、量の拡大を図る			○	○	○	○		
2	障害児相談支援事業及び保育所等訪問支援事業の拡大			○	○	○	○		
3	専門職増員に向けた人員要望協議の実施			○	○	○	○		
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・1については昨年度上半期 2,090回の支援提供に対し、今年度上半期は2,484回の支援を提供した。 ・保育所等訪問支援事業は、昨年度上半期は6人に対し26回実施、今年度上半期は17人に対し133回実施した。 ・障害児相談支援事業は、昨年度上半期の実施はなかったが、下半期に43人の利用計画を作成、今年度上半期は13人の利用計画を作成し、91回のモニタリングを実施した。 					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	外来療育サービス利用件数		計画値	単位	件	実績値	単位	件
					10,600		9,300		
	達成状況【成果】	未達成	コメント	こども発達センターの利用者は年々増加しており、今年度は新規の利用申込みが400人を超え、利用者の総数も約1200人に達した。					
	進捗状況【活動】	遅れている		一方、支援を担当する臨時職員のうち理学療法士、作業療法士、言語聴覚士各1名ずつが、募集をかけても応募者が無く、採用することができなかった。計画値に達しなかった原因の一つと思われる。					
計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント	専門職の獲得と支援体制の工夫を図り、計画値の達成を目指す。					
	計画値	無							
評価	評価者	秋山 享克	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	成果指標は計画値に至らなかったが、正規職員の増員がなく、臨時職員の確保、育児休暇職員の補充が困難であった中で、昨年度実績を上回る成果を上げた。平成26年度の計画値を達成するためには、確実な人員確保が絶対的な前提条件となることから、組織・人事部門と十分な協議を行い、計画達成に必要な体制整備が図れるよう努めること。					
	方向性	継続実施							

H25

アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	14 組織体制の見直し				重要度	A	
番号・取組事業名	14004	在宅医療推進システムの整備等		作成日	H25.4.1		
担当部署	060200	保健福祉部福祉政策室		責任者	下 隆明		
取組年度	H25	～	H27				
効果	その他改善						
最終目標	在宅医療に取り組む医師の数を増やし、在宅医療が必要な市民が適切に在宅医療を受けることができるよう体制整備する。 あわせて、医療・看護・介護の多職種連携を推進し、市民が在宅生活を送るうえで必要なサービスが効果的に提供できる体制を整備する。						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度							
平成24年度							
平成25年度	実施	在宅医療に取り組む医師を増やすための研修等を実施する。5名の増加を目標とする。					
平成26年度	実施	在宅医療に取り組む医師を増やすための研修等を実施する。5名の増加を目標とする。					
平成27年度	完了	在宅医療に取り組む医師を増やすための研修等を実施する。5名の増加を目標とする。					
成果指標	指標名	在宅医療研修を受講した医師の数				単位	人
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値			5	10	15	15
	実績値			18			0
効果額	歳入増加	計画額					0
		実績額					0
	歳出削減	計画額					0
		実績額					0
	計	計画額	0	0	0	0	0
		実績額					0
見込まれる その他効果 (金額以外)			医療・介護・看護の連携強化によるサービスの質の向上	医療・介護・看護の連携強化によるサービスの質の向上	医療・介護・看護の連携強化によるサービスの質の向上		

H25

アクションプラン(平成25年度)

推進項目	14 組織体制の見直し				重要度	A			
番号・取組事業名	14004	在宅医療推進システムの整備等	作成日	H25.4.1	更新日	H26.3.31			
担当部署	060200	保健福祉部福祉政策室	責任者	下 隆明	担当者	在宅医療支援担当			
	区分	取組内容・目標							
平成24年度	実施	在宅医療に取り組む医師を増やす							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	連携ワーキンググループの開催			○	○	○	○		
2	在宅医療研修の開催			○					
3	主治医－副主治医制の試行			○	○	○	○		
4	顔の見える関係会議の開催			○	○	○	○		
5	柏市医師会の在宅プライマリケア委員会への協力			○	○	○	○		
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・連携WGについて、予定どおり開催し、柏市における多職種連携のガイドブックづくりをまとめる作業に入っている。 ・在宅医療研修については6月に開催し、63名が受講した。今年度中(2～3月)に1回開催するよう、調整を進めている。 ・主治医副主治医制の試行、顔の見える関係会議、プライマリケア委員会への協力についても、計画通りに実施できている。 					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	在宅医療研修を受講した医師の数		計画値	単位	人	実績値	単位	人
					5		18		
	達成状況【成果】	達成		コメント	<p>本年度は、在宅医療研修の実施回数が例年より多かったことに加え、国の動向などにより、計画値を上回る研修参加を得ることができた。</p> <p>今後、実際の患者対応や、顔の見える関係会議などの事業を通じて、多職種連携のルールを浸透し、市民の在宅療養生活を支える中核を担えるよう、継続して関わっていくことが重要である。</p>				
	進捗状況【活動】	進んでいる							
計画変更(次年度以後)	取組内容	無		コメント	<p>本年度は計画値を上回る実績を挙げる事ができたが、本事業はまだ取り組み初期の段階であり、今後の超高齢化を支えるためには、今後も継続的に取り組むことが重要である。</p>				
	計画値	無							
評価	評価者	関口 隆明		※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B		コメント 指示事項	<p>拠点となる地域医療連携センターが完成し、在宅医療が実質的に進むように取り組んでください。</p>				
	方向性	取組み強化							